



R6年度

南風

牛深東小だより

2024年8月29日（木）

NO5 文責 原田琢二

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な笑顔が戻ってきました。暑い暑い夏でした。日焼けして心なしか大きくなったようにも見えます。子供たちの顔には、楽しかった夏の思い出が想像されます。地域の皆様には夏休みの間も子供たちを温かく見守っていただき大変お世話になりました。おかげさまで大きなけがや事故もなく、無事に夏を終えることができました。

さて、この夏休みは前半に子供たちの学習会を、希望参加形式で3日間開催しました。一日平均40名の子供が参加し、楽しく学んで帰りました。今年は新しい試みとして、牛深高校の生徒さんをボランティアで募集し、ミニ先生として子供たちに関わってもらいました。延べ15名の生徒さんが参加して、子供たちに丁寧に教えてくれました。子供たちも年齢の近いお兄さん、お姉さんに学習を見てもらえるということで大変楽しく学ぶ事ができました。参加した高校生の中には教師を目指しているという方もいて、とても良かったと思えました。ぜひ、夢を達成し戻ってきてもらいたいと励ましたところでした。学習会に参加した子供たち、みんなが縦の繋がりが感じてくれたようです。高校生の皆さんは部活動や課外の合間に参加してくれました。大変ありがとうございました。また来年もぜひ企画したいと思います。

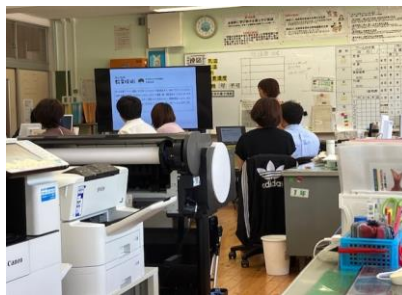


先生たちの夏休み

「子供たちのいない夏休み期間中、先生は何をしているの？」よく聞かれます。先生たちは課業日に休暇を取ることが難しいため、この時期、比較的自由に休暇を取得することができます。しかし、夏休みこそ、まとまった学びができる時間でもあります。下の写真は様々なテーマで担当が研修を進めている様子です。写真で紹介した研修の他にも、教育図書の紹介やICTの活用法について研修が行われるなど、子供たちの様々なニーズに応えられるよう積極的に学んだ熱い夏でした。



学校での働き方改革について森川教諭が講話をしている様子



トイレの掃除は何のためにという研修を嶋形養護教諭が行っている様子



子どもの視点から教師の話し方や説明の仕方のポイントを話し合っている様子